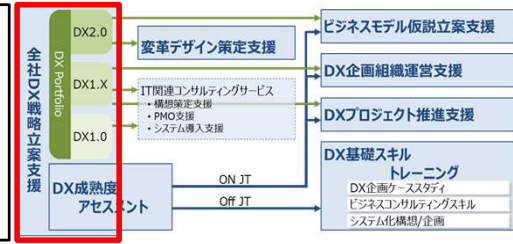


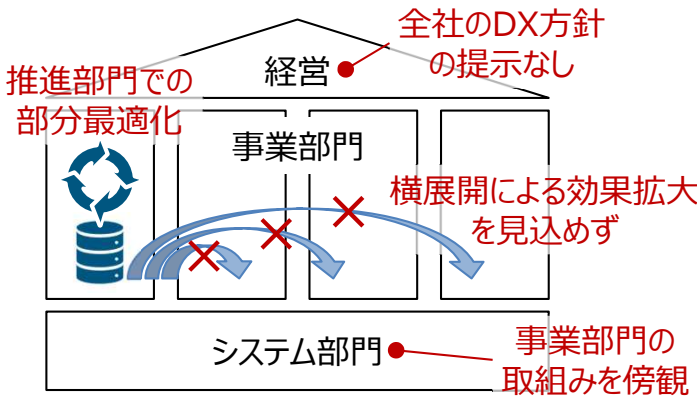
## サービス概要

DXにより実現したい将来の姿の具現化と現状を踏まえた変革領域の定義、それぞれの領域に応じた方針策定を通じて、全社のDX戦略の策定を支援します。



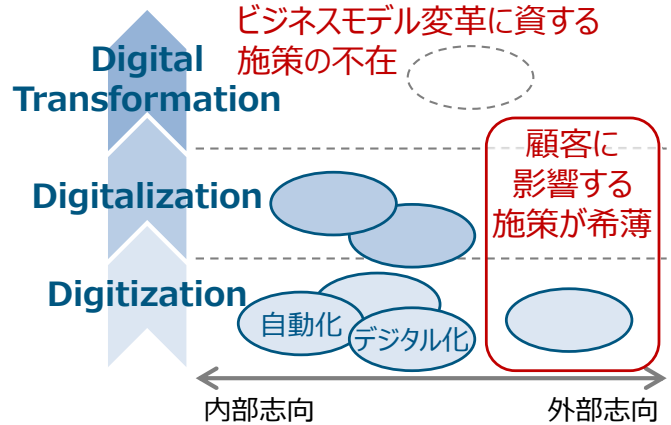
## 典型的な課題

### ■ DX推進の旗振り役不在



- 全社でのDXの旗振り役が不在で、施策推進部門が他部門と連携することもなく単独で推進した結果、個別最適化され全社展開が困難となり、得られた成果も部分的なものとなった

### ■ 施策の偏り、水準の低迷



- バックオフィス系の施策が多い一方で、顧客への価値提供を担うフロント系の施策が少ない
- 業務プロセスのデジタル化・自動化に類する施策が多く、ビジネスモデルの変革につながる施策が出てこない

## サービスの特徴

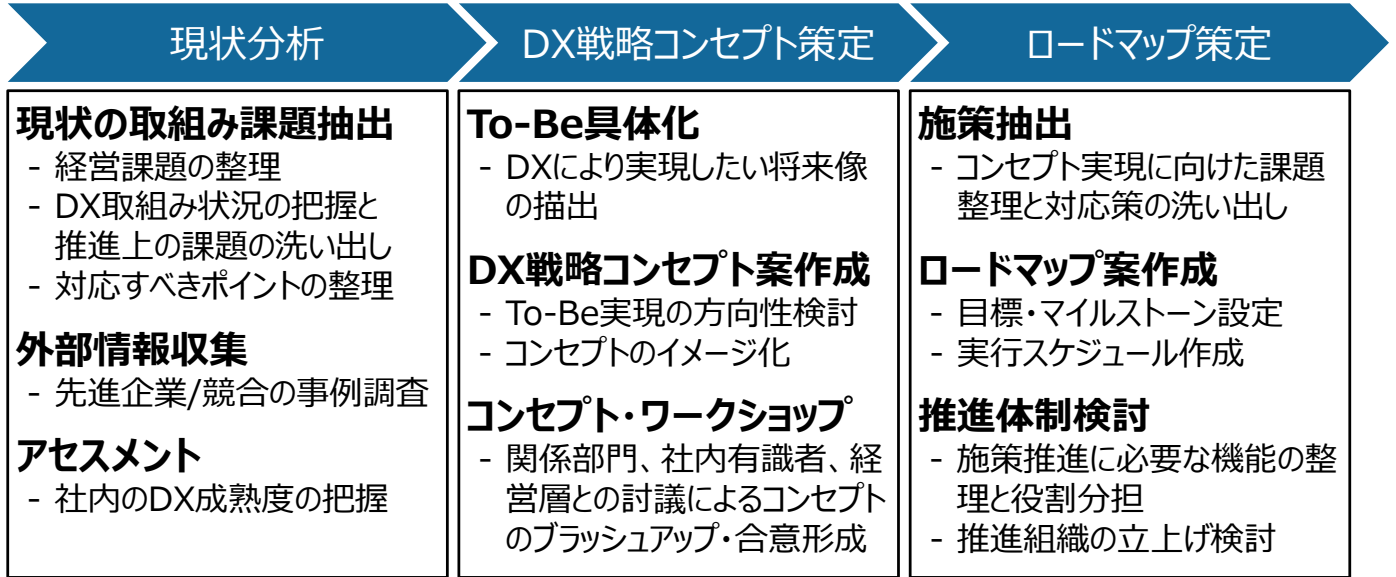
- 目指す姿の実現方針と併せてDXの取組み全体像を整理します
- 取組みテーマに応じて必要な推進・マネジメント機能を定義し、運営組織・体制を提案します

### <DX取組み全体像整理のイメージ>

	テーマカテゴリ	取組みテーマ	推進機能
社外	顧客・株主への提供価値の変革	デジタル活用による顧客体験の向上 新たなビジネスモデル創出・顧客開拓 ESG経営の成果の可視化・訴求	<ul style="list-style-type: none"> <li>新ビジネスモデル検討/新サービス企画</li> <li>個々のテーマ推進 (各部門での推進+部門間連携)</li> <li>部門横断の推進管理</li> </ul>
	フロントオフィス変革	<ul style="list-style-type: none"> <li>マーケ・営業活動の高度化</li> <li>リソース×オペレーション最適化</li> <li>適材適所の人材配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々のテーマ推進 (関係部門を巻き込んだ推進)</li> <li>テーマ推進管理</li> <li>成果の部門内活用/定着</li> </ul>
社内	バックオフィス変革	<ul style="list-style-type: none"> <li>データドリブン経営の推進</li> <li>コーポレート業務のフルデジタル化</li> <li>リアル/オンラインのオフィス環境整備</li> </ul>	

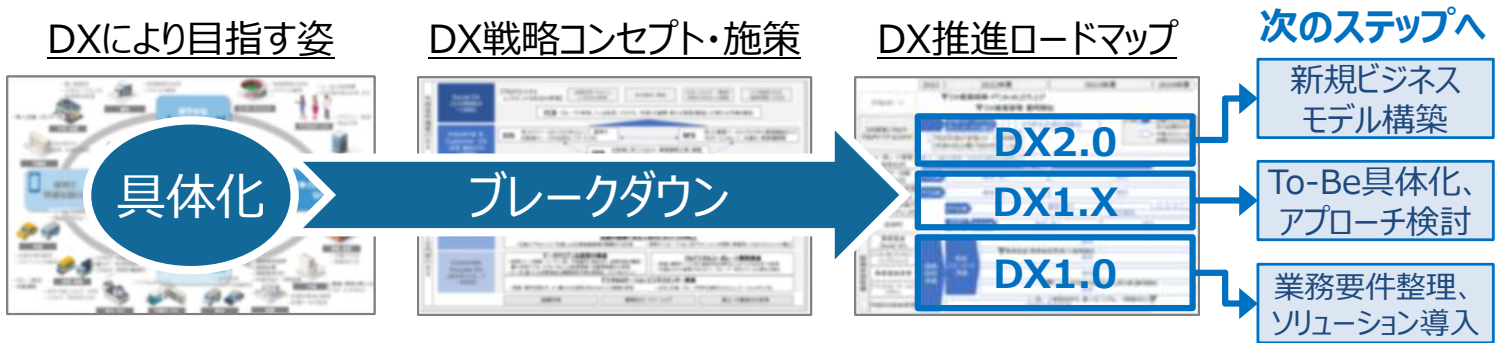
## サービスアプローチ

- DX戦略のコンセプト案を作成した後、ディスカッションを通じたブラッシュアップだけでなく関係者との合意形成を図ることで、その後の取組みのスムーズな推進を可能にします
- また、ロードマップの作成だけでなく、推進体制を精査することでDX戦略の実行、さらにはDXによる目指す姿の実現の可能性を高めます



## サービスアウトプット

- DXはあくまでも“目指す姿を実現するための手段”であるため、具体的にイメージ化された目指す姿を最上段に置き、その実現に向けて戦略コンセプト・施策・ロードマップを策定していきます
- 施策の内容に応じてその後の進め方が異なってくるため、ロードマップ策定においては推進体制を具体的に想定することが重要になります



## アットストリームグループのご紹介

- 【沿革】 2001年7月 Arthur Andersen Business Consulting部門のパートナー、マネジャーが中心となり設立。  
2018年4月 (株)アットストリームを持株会社として事業会社を分社化し、組織運営方法の異なる二つの事業会社、アットストリームコンサルティング(株)、アットストリームパートナーズ(同)を設立。
- 【所在地】 東京オフィス 〒104-0031 東京都中央区京橋2-7-14 ビュレックス京橋 7F  
大阪オフィス 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-4-10 淀屋橋センタービル 12F  
名古屋オフィス 〒460-0003 名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル 7F  
広島オフィス 〒730-0051 広島市中区大手町2-2-9 ビル博丈大手町2F
- 【URL】 [www.atstream.co.jp](http://www.atstream.co.jp)
- 【お問合せ先】 [query@atstream.co.jp](mailto:query@atstream.co.jp)
- 【担当】 安達、北山、福本、並木、原